

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 運営費積立金	17,477,984	3,008,407	0	20,486,391
特定資産 退職給付引当資産	5,365,000	0	1,901,000	3,464,000
特定資産合計	22,842,984	1,107,407	0	23,950,391

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定からの 充当額)	(うち一般からの 充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産 運営費積立金	20,486,391	20,486,391	0	0
特定資産 退職給付引当資産	3,464,000	0	0	3,464,000
特定資産合計	23,950,391	20,486,391	0	3,464,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	473,445	317,190	156,255
商標権	631,390	631,390	0
合 計	1,104,835	948,580	156,255

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
一般正味財産への振替額 目的達成による指定解除額	36,991,593
合 計	36,991,593